

# 幸若かわら版

幸若舞の里づくり会  
事務局 橋本守行  
電話090-7746-8689

第 1 2 号  
平成30年 5月1日

## 小雨の中で佐々生墓地清掃



小雨決行清掃中



佐々牟志神社拝殿

去る四月十五日午前中、昨年春に引き続き本年も幸若ゆかりの佐々生墓地の清掃を行いました。朝からの雨の中を辻会長をはじめ十二名の会員が参加しました。清掃途中から雨も小雨となり、清掃の熱気におさされたのか、終わるころには雨もあがるほどでした。昨年もおそうでしたが、すでにお精抜きは済ませていたことですが、小さな墓石が倒れたり、崩れたりして、散乱している状況で、なんとかできないかとの思いを強くしました。終了後、佐々牟志神社の拝殿をお借りして昼食をとりました。食事前に、同神社総代から、神社の由緒や、「北向き」の経緯などの説明を受けて、滅多に同神社に参拝することがない会員にとって有意義な時間でした。

## 第3回総会開催のご案内！

本会の第3回総会（30年度）を下記により開催します。

日時 平成30年5月13日（日）午前10時～  
会場 越前町生涯学習センター2階会議室

例会は隔月（偶数月）第2金曜日です

# 語り部出動第1号 東京より訪問者



去る三月十一日午後、幸若舞を訪ねて、東京から越前町に訪問者がありました。織田文化歴史館の村上学芸員が不在で、幸若文化情報センターに案内されましたが、同センターでは対応できず、本会にお呼びがかかりました。突然のことでしたが、語り部の会の青山会員や辻会長などにより、説明を行いました。訪れたのは、東京品川区に事務所を置くオフィスゼータ感通学研究所の木越祐紀子さんで、各地で伝承されている「祭祀」「芸能」を研究対象としているとのことでした。その一環として、日本中世を代表する芸能である幸若舞に関心を持ったということですが、一通り、説明したのち、幸若舞発祥地の碑などに案内しました。



オフィスゼータ  
感通学研究所

YUKIKO KIGOSHI  
〒142-0041 東京都品川区戸越 4-4-9-103  
+81) 080 2371 3259 日本  
+39) 333 1800 986 Italy  
yukikokigoshi@docomo.ne.jp  
hanamaruyuki219@gmail.com  
www.facebook.com/yukisicilia

木越  
祐紀子

## 木越祐紀子さんプロフィール

昭和55年東京まれ。民俗学者柳田國男は大叔父。曾祖父は陸軍大臣・木越安綱。

宝石店勤務での出張の折、立ち寄ったイタリア・シチリア島にひかれて移住。約15年間のシチリア生活を経て現在に至る。この間、ギリシャをはじめとする欧州神話や日本神話の伝承地めぐりをはじめ、伝承されている「芸能」の「振り」に共通するものがあることを見出した。

## 顧問会議を開催 4月12日

4月12日午前、朝日コミュニティセンターにおいて、当会顧問のうち、山口信嗣先生、中嶋宗聖県文協会長、孝久西田中区长および打波六兵衛氏夫人のご出席をえて、会役員をまじえた顧問会議を開催しました。

役員から、29年度の事業経過報告と新年度の事業方針(案)について説明を行い、その後意見交換、提言を受けました。

その主な事項は以下の通りです。

- \* 青少年ホーム・商工会館・区民会館 建て替えに伴う幸若関係スペースの確保、
- \* 福井国体ホッケー会場における幸若舞および越前町のPR
- \* 幸若舞を紹介する簡易DVDの作製
- \* 「かわら版」のカラー化
- \* 埼玉県に住む幸若子孫所有の古文書調査
- \* メディアの積極的利用その他

山口顧問による幸若講座(歴女の会)は毎月最終金曜日です

## 第9回越前町文協

# 宗生流幸若舞が芸能祭に出演



3月4日(日)生涯学習センター朝日多目的ホール(カメラホール)で開催された第9回越前町文協芸能祭に宗生流幸若舞が参加しました。当日は、大人の獅子舞、民踊、フラダンスなどにまじって、「宮崎物語」や「宗生流剣詩舞道会」など子どもの出演も多数あり、幸若舞では昨年創作された「安宅の関」が上演されました。

## 第67, 68回幸若講座開催

恒例の山口顧問を講師とした幸若講座第67、68回がこの3月23日及び4月27日に幸若文化情報センター研究室において開催されました。「越前幸若舞を知る100項」をテキストとして、10項「西田中村」の村名と守護不入、11項若狭と幸若舞(舞々・曲舞)、12項幸若関係系図および13項なぜ桃井姓ではなく幸若姓なのかが取り上げられました。このなかには、幸若先祖がなぜ西田中村にたどり着いたのか、それは「仏縁」であるとの記述が関連文書にあるが、この仏縁には八坂神社仏像も関係しているのではないかとの意見も出されました。

その他、講義のあいまにはNHKの大河ドラマや明治150年イベントに関連して、橋本左内、松平春嶽、由利公正、間部詮勝、さらには後藤ひろみさんや加来耕三氏、西尾藩陣屋跡の難読墓碑にも話題が及び楽しい時間を過ごしました。

### 当面の主な予定

- 5月13日(日) 午前10時 第3回総会 町生涯学習センター
- 5月25日(金) 午後1時半 第69回幸若講座 幸若文化情報センター
- 5月27日(日) 午前9時 健康ウォーク協力参加 商工会館前
- 6月8日(金) 午後7時半 定例会 青少年ホーム研修室

### 幸若かわら版がカラー化

特別会計のなかで予算が認められ、ごらんのように、幸若かわら版が今号よりカラー化されました。これを機会にいっそう充実したいと考えておりますので、本誌に対するご意見・ご提案、さらにはご寄稿を事務局までお寄せください。

# 幸若関連史跡 説明板設置



## 白山神社

当社は明治時代に村社となり、伊邪那美尊を祭神とする。境内には稲荷社が鎮座し、もとは幸若弥次郎家の屋敷内にあったと伝わる。

幸若舞の創始者・<sup>もものい なお 幸若</sup>桃井直詮の肖像画（国指定重要文化財 東京国立博物館蔵）には6行にわたって賛文が付される。直詮の戒名に続き、「曾発玉楼金殿嘗／尊卑聯袖又飛車／源平合戦見青妙／誰識白山神助初」と見え、「かつて、（直詮が）貴人の御殿にて名譽を発し、尊卑ともに袖を連ね、あるいは牛車を馳せて、語り舞う源平合戦の精妙さを見に集まった。だが、これは白山明神の神助があって初めて生まれた技とは誰が知ろうか」との意になる。

江戸時代に作成された「幸若八郎九郎家系図写」には「越前国二下り白山二参籠、不思議ノ有示現音曲一部成就」、同じく「幸若八郎九郎家系図写」にも「生国越前二下り白山登山、不思議有靈現音曲一部成就」とあり、直詮が幸若舞を創始したのはひとえに白山明神のおかげとする。幸若家は、白山神を篤く信仰していたのであろう。

かねてから、本会では越前町役場において、この4月設置された。そのうち4ヶ所に白山神社、幸若舞発祥地の碑、朝日観音寺および幸若文化情報センター（町図書館）です。



## 越前町役場 幸若舞リーフレット発刊

かねてから本会が越前町役場に要望しておりました幸若舞を紹介するリーフレットがこのほど出来上りました。内容としては、幸若舞の歴史と歴史、町内の関連史跡の紹介など。A4判三つ折りで全部で1万部印刷され、幸若文化情報センターなど町内の文化・観光の関連施設で閲覧・配布されました。また、町外からの観光客などへの説明にも利用されます。なお、幸若会にも提供されておりますので、希望者は事務局・橋本までご連絡下さい。